

第3期中期目標期間の業務実績に 関する評価結果

第3期（平成31年4月1日～令和5年3月31日）

令和6年2月22日

川崎町

目 次

- 1. 全体評価 P 1
- 2. 大項目評価 P 1 ～ P 3
 - 第1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」
 - 第2 「業務運営の改善及び効率化に関する事項」
 - 第3 「財務内容の改善に関する事項」
 - 第4 「その他業務運営に関する重要事項」

は じ め に

地方独立行政法人川崎町立病院評価委員会は、地方独立行政法人法第30条の規定に基づき、地方独立行政法人川崎町立病院の第3期中期目標期間（令和元年度から令和4年度）における業務実績の全体について総合的に評価した。

<評価実施要領（抜粋）>

○項目別評価（大項目）・・・中期目標期間における達成状況を5段階による評価を行う。

S；中期目標を大幅に上回り、特に評価すべき達成状況にある。

A；中期目標どおり達成している。

B；中期目標を概ね達成している。

C；中期目標を十分に達成していない。

D；中期目標を大幅に下回っているまたは重大な改善すべき事項がある。

○全体評価・・・項目別評価の結果を踏まえ、記述式による総合的な評価を行う。

地方独立行政法人川崎町立病院評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委 員 長	荒 木 久 昭	町民代表（医師）
副 委 員 長	政 時 喜 久 美	町議会議員
委 員	石 田 智 恵 美	福岡県立大学教授
委 員	井 上 馨	町民代表
委 員	佐 竹 繁 利	町民代表（税理士）

1 全体評価

項 目	年度評価結果				第3期中期目標 期間の評価結果
	R1	R2	R3	R4	
第1 住民に対して提供するサービスその他 業務の質の向上に関する事項	C	B	A	C	C
第2 業務運営の改善及び効率化に関する 事項	A	C	C	A	B
第3 財務内容の改善に関する事項	C	C	D	C	C
第4 その他業務運営に関する重要事項	C	C	C	C	C

評価結果(全体)

第3期中期目標期間における業務実績に関する評価は、「住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する事項」の大項目については、C評価（中期目標を十分に達成していない）、「業務運営の改善及び効率化に関する事項」の大項目については、B評価（中期目標を概ね達成している）、「財務内容の改善に関する事項」の大項目については、C評価（中期目標を十分に達成していない）、「その他業務の運営に関する重要事項」の大項目については、C評価（中期目標を十分に達成していない）が妥当と判断した。全体の評価としては、大項目1及び2については評価できる点もあるが、やはり大項目3の「財務内容の改善に関する事項」において令和元年度から令和3年度までの赤字経営が他の部分にも影響して計画が達成できていない状況である。令和4年度は単年度収支において黒字となったので今後安定した経営を維持するためにも経費に占める割合の大きい人件費を中心とした経費の見直しが必要である。

2 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

事業年度評価結果				第3期中期目標 期間の評価
R1	R2	R3	R4	
C	B	A	C	C

<主な取り組みや特色ある取り組み>

(令和元年度)

- ・眼科白内障手術の待ち期間解消のため隔週実施から毎週に変更
- ・新型コロナ対策として実践的な感染対策マニュアルを策定
- ・転倒防止のため段差解消工事を実施（トイレ、病室、洗面所、外来出入口、エレベーター前）

(令和2年度)

- ・家族と患者の要望に応え、WEBでの面会を開始

- ・針刺し事故防止のため針の廃棄箱をインシュリン針対応へと変更
 - ・発熱外来設置に伴い、空調工事実施
(令和3年度)
 - ・田川圏域に不足する回復期病床（地域包括ケア病床）設置
 - ・国の補助金を活用し、マイナンバーカードの健康保険証確認システム機器導入
 - ・発熱対策室とコロナ病床に陰圧装置を設置
 - ・自宅で看護する家族の負担を減らすため、レスパイト入院制度導入
(令和4年度)
 - ・田川圏域で過剰な慢性期病床の削減及び在宅療養支援病院としての届出
 - ・田川保険事務所からの要請でコロナ陽性入院患者を11人受け入れ
 - ・快適に診療を受けていただけるよう、眼科受付の天井カセット型のエアコン取付
- ＜その他の取り組み＞
- ・救急医療の取り組みについて田川地区二次内科当番の役割を担い可能な限り受け入れた
 - ・川崎町の地域支援事業の地域いきいき健康サロン、川崎町地域包括支援センター、川崎町シニアクラブ等の講座へ作業療法士・言語聴覚士・理学療法士が講師として積極的に参加
- ＜今後改善を期待する取り組み＞
- ・意見箱を設置しているのは良いことだが、患者から意見や要望があった場合に院内だけで完結するのではなく、掲示板等にどのように改善するのか張り出した方がよい。
 - ・令和4年度に院内でパワーハラスメント案件があったようだが、今後二度とないように定期的な研修等で職員への意識づけを徹底してもらいたい。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

事業年度評価結果				第3期中期目標 期間の評価
R1	R2	R3	R4	
A	C	C	A	B

- ＜主な取り組みや特色ある取り組み＞
- (令和元年度)
- ・福岡県から自治医科大学出身の内科常勤医師2名の派遣等で医師を確保
- (令和2年度)
- ・看護部で年間教育計画を作成
- (令和3年度)
- ・福岡県立大学看護課と共同で特定行為研修実習を6回開催
- (令和4年度)
- ・九州大学第1内科の医師を法人職員として副院長に招聘
 - ・看護師長1名が日本看護協会看護管理者過程ファーストレベルを修了
- ＜その他の取り組み＞
- ・新型コロナウイルス対策として研修にeラーニングシステムやwebを活用
 - ・ワークライフバランスを考慮し、休暇の希望はほぼ希望通りできた
 - ・障がいのある方2名の雇用を継続

<今後改善を期待する取り組み>

- ・医師及び看護師等の必要人員数は確保しなければ運営に支障があるが、営業収益に対して職員給与比率が大きいので、人件費について改善できる部分は改善すべきである。
- ・人件費削減のためにこの4年間管理職手当をカットしているが、職員のモチベーションや新規採用にも影響があるのでないか。できるだけ早くもとに戻したほうが良い。
- ・レセプトの間違いは防げるので、チェック体制を強化する必要がある。

第3 財務内容の改善に関する事項

事業年度評価結果				第3期中期目標 期間の評価
R1	R2	R3	R4	
C	C	D	C	C

<主な取り組みや特色ある取り組み>

- ・令和4年に町の支援で経営コンサルティングを導入し、4月から6月までの3ヵ月間経営分析が行われ、経営改善計画を策定した。
- ・各年度収支 (単位 千円)

R1 △6,483千円 R2 △49,549千円 R3 △86,673千円 R4 1,228千円

<今後改善を期待する取り組み>

- ・令和4年度は1,288千円の黒字となった。これは圏域の医療機関との連携などによる入院収益の大幅な増収が理由である。また、令和4年度までは新型コロナウイルス陽性患者の受け入れ病院として補助金があったが、令和5年度から補助金はない。今後は経営改善計画に沿って安定した経営を維持してもらいたい。

第4 その他業務運営に関する事項

事業年度評価結果				第3期中期目標 期間の評価
R1	R2	R3	R4	
B	B	B	C	C

<主な取り組みや特色ある取り組み>

- ・医療機器の購入 (超音波検査装置 心電計装置)

<今後改善を期待する取り組み>

- ・電子カルテシステムの導入を第3期では見送っているが、今後若い医師の雇用等のためには必要となるのではないか。
- ・医療機器の新規購入や買い替えについては、各年度において購入計画を明記し、計画的に購入すること。